

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 0件（前月比-, 前年比-）でした。令和2年の11月、12月に1件、令和3年の1月に2件、4月に1件であり、その後に発生はありません。昨シーズンも流行はみられませんでしたでしたが、これまで、インフルエンザは毎年の流行を繰り返しているため、今後の発生動向に注意を払う必要はあります。

小児科定点

（全体傾向）

3,079件（前月比1.10、前年比2.43）であり、前年比が上昇しています。前年比の上昇は、感染性胃腸炎1,343件（前月比1.6、前年比2.2）、手足口病986件（前月比0.9、前年比10.3）、ヘルパンギーナ239件（前月比0.8、前年比13.3）、RSウイルス感染症118件（前月比0.8、前年比9.1）の影響を受けています。感染性胃腸炎1,343件（前月比1.6、前年比2.2）は3か月連続で上昇しており、今後の発生動向に注意が必要です。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 118件（前月比0.8、前年比9.1）であり、前年比が大きく上昇しています。前年同月の発生数が13と低値であったため、相対的に高値となっています。今年4月にピーク（1,128件）を認めましたが、以後は減少し、大きな変動はなく推移しています。菊池（10.20）が特に高くなっています。
2. 咽頭結膜熱 : 20件（前月比1.4、前年比0.4）でした。6月にピーク（106件）となり、その後は減少し、大きな変動がなく推移しています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 46件（前月比1.1、前年比0.4）でした。前年比が低下しています。今年度は、大きな変動がなく例年より低い値で推移しています。
4. 感染性胃腸炎 : 1,343件（前月比1.6、前年比2.2）でした。前月比、前年比ともに上昇しています。9月からは連続しており、今後の発生動向に注意が必要です。熊本県下で広く流行しており、阿蘇（1.00）、山鹿（9.00）以外では、2桁の定点当り報告数となっています。
5. 水痘 : 16件（前月比1.1、前年比0.4）でした。7月に小さいピーク（43件）がありましたが、以後は例年より低い値で推移しています。
6. 手足口病 : 986件（前月比0.9、前年比10.3）でした。前年比が大きく上昇しています。発生数は9月がピーク（1,517件）となり、以後は連続して減少しています。熊本県下で広く流行しており、阿蘇（0.00）、山鹿（6.00）、天草（6.50）以外では、2桁の定点当り報告数となっています。
7. 伝染性紅斑 : 3件（前月比3.0、前年比0.8）でした。本年度は大きな変動がなく、低い値で推移しています。
8. 突発性発疹 : 148件（前月比1.1、前年比1.0）でした。前年比、前月比ともに大きな変化はなく、例年と同様に推移しているようです。
9. ヘルパンギーナ : 239件（前月比0.8、前年比13.3）でした。前年比が大きく上昇しています。前年同月の発生数が18と低値であったため、相対的に高値となっています。令和元年は7月、2年は8月がピークとなりました。本年度は10月がピーク（285件）となりましたが例年より低い値でした。11月は減少に転じています。

10. 流行性耳下腺炎 : 10件(前月比1.4, 前年比0.7)でした。最近1年間は大きな変動がなく、低い値で推移しています。

### 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数13件、前月比0.7、前年同月比0.9と減少しています。熊本12件、有明1件の報告です。年齢別では30~49歳に7例とピークがあります。

### STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :  
報告数53件(前月比0.7、前年同月比1.1)でした。男女別は、男性35件、女性18件でした。年齢別では、男女とも20代をピークに24件、次いで30代15件、40代から60代までは男性のみでした。10代後半4件、男性1件、女性3件でした。地区別は、熊本市40件、男性29件、女性11件、次いで宇城が男性のみ4件、菊池が女性のみ3件、人吉が女性のみ2件、有明が2件(男女各1件)、八代が男性のみ1件、御船が女性のみ1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :  
報告数26件(前月比1.4、前年同月比1.4)でした。男女別は、男15件、女性11件でした。年齢別では、男性は20代に3件、30代に5件、40代に3件、50代1件、60代に2件、70代以上に1件と幅広く認めました。女性では10代に1件、20代、30代、50代にそれぞれ2件、60代に1件、70代以上に3件と40代を除くすべての年齢層に認めました。地区別は、熊本18件、男性14件、女性4件、八代で4件、男性1件、女性3件、菊池で女性のみ3件、有明で女性のみ1件でした。
3. 尖圭コンジローマ :  
報告数は5件(前月比0.4、前年同月比0.4)でした。すべて男性でした。年齢別では、20代3件、30代、40代にそれぞれ1件でした。地区別は、熊本が4件、宇城が1件でした。
4. 淋菌感染症 :  
報告数は28件(前月比0.9、前年同月比0.9)でした。男女別では男性26件、女性2件でした。年齢別では男性の10代後半に1件、20代が8件と最多、30代が7件、40代、50代がそれぞれ5件でした。女性は40代、50代にそれぞれ1件でした。地区別は、熊本18件、すべて男性、次いで宇城も男性のみ4件、八代が男性1件、女性2件、有明は男性のみ3件でした。

### 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :  
報告数22件(前月比1.8、前年同月比1.8)でした。15件(68.2%)が70歳以上でした。乳幼児では0件です。人吉(7件、定点あたり7.0)、阿蘇、有明(2件、定点あたり2.0)が多くなっています。全体として急増しています。要注意です。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :  
報告数2件(前月比0.7、前年同月比0.7)でした。熊本2件です。1-4歳、5-9歳が各1件です。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :  
報告数0件(前月比+0、前年同月比+0)でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比+0、前年同月比+0）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比+0、前年同月比+0）でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数1件（前月比+1、前年同月比1.0）でした。鎮静状態が続いています。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月比+0、前年同月比+0）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数0件（前月比+0、前年同月比+0）でした。

## 届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	15件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	3件
4類感染症	： つつが虫病	4件
	レジオネラ症	5件
	日本紅斑熱	2件
5類感染症	： アメーバ赤痢	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
	梅毒	13件
	百日咳	5件
新型インフルエンザ等感染症	： 新型コロナウイルス感染症	3件